

卒業生答辞

冬の寒さも和らぎ、穏やかな春の日差しを感じる今日の良き日に、厳粛かつ壮麗な式を挙げていただき、ありがとうございます。真板竜太郎校長先生をはじめ、皆様からの心温まるご祝辞や激励の言葉をいただき、卒業生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

三年前の春、新品の制服に身を包み、咲きこぼれんばかりの桜が迎え入れてくれた入学式。これから始まる学校生活への不安や期待を胸に、ここにいる仲間たちと歩み始めました。しかし、それと同時に入学したばかりの私達を襲ったのは、今もなお猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症でした。この感染症拡大による長期休校、また多くの学校行事の中止など私達の当たり前前の学校生活は入学と同時に、崩れ去ってしまいました。

コロナウイルスはすぐには収束せず、毎日のマスク着用や、対面を避けての昼食、放課後の部活動の制限など想像以上に不自由な状況が続きました。しかし、コロナ禍によってもたらされた制限された学校生活で、私たちはできることの中で工夫をして楽しむことを学びました。それと同時に「当たり前の日々」がどれほどありがたいものだったかを、身をもって感じました。

例えば硬式野球部による、六年ぶり四度目春の選抜への出場は記憶に新しく、同級生の活躍に胸が躍り、本校の生徒による応援団はもちろん、木更津市、さらには千葉県一丸となって応援できたことにとっても感動しました。三年次では、一、二年生では行くことができなかった全校遠足に行くことができ、また真心祭体育の部・文化の部ともに二年ぶりの通常開催もできました。

晴天の中、数多くの競技に取り組むことができた体育祭。一人一人が全力を出して白熱し、三年間で一番の盛り上がりを見せました。文化祭では全校をあげて出し物が行われ、三年生は模擬店を行いました。各クラスが放課後遅くまで準備をし、多くの来場者を迎えることができました。野外ステージでは部活動、同好会が今までの活動の成果を発表するなど、普段の学校生活では見られない友人の姿を見て感動を分かち合うことができました。充実した行事になったのも、先生方がコロナ禍の中、なんとか思い出を作ろうと様々な工夫をしてくださったこと、そして生徒全員で感染症対策に努めた結果だと思えます。

私たちは数多くの先生方に支えられ、学校生活を送ることができました。三年間、私たちの学年を担当してくださった先生方、本当にありがとうございました。他にも、授業を楽しく理解できるよう工夫してくださった教科担当の先生や、分からないところがあると丁寧に教えてくださった先生など、数えるときりがありません。先生方は授業や部活動だけでなく、私達の日常に寄り添ってくださいました。進路活動においても数多くの先生方が力になってくださいました。面接練習に快く付き合ってください、相談事に的確なアドバイスをいただく中で私たちは自らの進路を決定することが出来ました。先生方のおかげで私たちは少しずつですが成長し、自分の進むべき道を自分で決定し、一歩踏み出す勇気を培うことができました。三年間、本当にありがとうございました。

在校生の皆さん、先ほどは心のこもった送辞をありがとうございました。皆さんには、部活動や委員会を通して、また真心祭体育の部、文化の部といった行事等で、たくさん支えていただきました。様々な活動の場で後輩達にも助けられ、先輩である私達が学びを得ることもありました。昨日の予餞会でも、長い時間をかけて準備してくれたと思うと、感謝と感動で涙が溢れてきました。本当にありがとうございました。そして、これからも勉強、スポーツ、行事などのあらゆる面でこの木更津総合高校をさらに盛り上げていって下さい。

そして、私たちには今日まで愛情を持って育て、支えてくれた家族がいます。毎日大変な中お弁当を作ってくれ、爽やかに送り出してくれたこと感謝しています。進路決定の際にはお互いの主張がぶつかることもありました、最後には気持ちを受け止めてくれて嬉しかったです。三年間、高校に通うことができ、今日、卒業の日を迎えられたことは、なにより私たちのそばで助けてくれた家族のおかげです。本当にありがとうございました。私たちはこれから自立し、いつか巣立つときが来ると思いますが、親孝行できる日が来るまで見守っててください。

そして、同じ学び舎で同じ時を過ごした卒業生の皆さん。三年間本当にありがとうございました。こ

の学校で皆さんと出会い、三年間を共に過ごし、そして今日共に卒業できることを心から嬉しく思います。

最後になりますが、校長先生を始め、諸先生方、事務室やバスの運転手の皆様、私たちに関わって下さった皆様に感謝を申し上げ、木更津総合高等学校が、これからも素晴らしい歴史を刻んでいかれますことを祈念して、答辞とさせていただきます。

2023年3月1日 卒業生代表 山根 凧